富士見小だより

富士見小 HP

学校教育目標　「未来を切り拓く心豊かな児童の育成」
校　　訓　　かしこく　やさしく　元気よく

上尾市立富士見小学校　上尾市柏座 4-3-8　電話 048(771)0505

令和８年１１月４日
発行責任者
校長　吉田　充

継続は力なり　～乗り越えて成長する子供たち～

校長　吉田　充

秋の気配も深まり、何事にもじっくり腰を据えて取り組むのに最適な季節となりました。２学期も後半を迎え、子供たちは学習活動を中心に、学校行事等にもしっかり取り組み充実した学校生活を送っています。そうした中で、日々の子供たちのがんばりや、成長する姿を見ていて感じることは、継続して物事に取り組むことの大切さです。

先日行われた校内音楽会では、どの学年もとても素晴らしい演奏を披露してくれました。しかし、最初から上手にできたわけではありません。初めのうちは、正しい旋律をつかむのが難しかったり、リズムや音程が合わなかったりなど、苦戦する姿もありました。それでも、子供たちはあきらめることなく、毎日地道な練習を積み重ねてきました。当日の体育館に響き渡った美しいハーモニーは、まさに子供たちが継続してきた努力の結晶であり、だからこそ、私たちに大きな感動を与えてくれたのだと思います。

校内音楽会は、学校行事としての一つの例ですが、学校生活全体を広く見渡してみると、行事以外にも、子供たちの周りにはたくさんの継続の種がまかれています。

授業をしっかり受けること、音読や漢字練習、計算練習に取り組むこと、話をよく聞き、手を挙げて発表すること、学習以外にも、友達と仲よく協力すること、係活動や当番活動に進んで取り組むこと、自分からあいさつをすること、脱いだ服や靴を揃えることなど、生活習慣もそうだと思います。

まずは、小さなことや簡単なことから見直して、しっかりとできるようにすることが大切です。「毎日〇分」「これだけは必ず」といった小さな目標で構わないので、地道にコツコツ取り組める力を身に付けさせたいものです。継続して取り組んだことは一つの小さな自信となり、その自信を積み重ねが、大きな達成感につながるのだと思います。

これまでの教育活動の中で、子供たちの粘り強く取り組む力は確実に育っています。しかしその一方で、「間違ったらどうしよう」「失敗するのが恥ずかしい」と、挑戦することにためらってしまう一面も見られます。失敗を恐れるあまり、今できるかどうかだけで決めつけてしまうと、せっかくの可能性の幅を狭めてしまうことになりかねません。子供たちには、校内音楽会でやり遂げたという達成感を胸に、継続することの大切さを感じながら、困難や失敗を乗り越えて挑戦する姿勢を大切にしてほしいと願っています。

学校といたしましても、引き続き一人一人の努力やがんばりを見逃さず、認め、励ます指導を行ってまいります。今後とも本校教育活動に対しまして、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。